

柴田流星 しゅうせい 小説家。明治十一年一月二十八日東京生れ、大正二年九月二十七日歿（二八七—一九三三）。本名勇。別號流星子。時事新報社を經て左久良書房編輯主任。巖谷小波門、また夏目漱石の木曜會に加入する。

譯著書、ゴッゴリ作『蠻勇』（塚原澁柿共譯、明治二十六年十月十七日新聲社）、トルストイ作『アンナ・カレンナ』（明治二十九年四月十八日高橋重藏刊、上田屋書店發賣）、『唯一人』（明治四十一年十一月）二十日左久良書房）、『傳説の江戸』（平成二年六月十日中央公會論社「中日叢精堂」）、『残されたる江戸』（平成二年六月十日中央公會論社「中公文庫」）等。